

〜 団体会員のご紹介 〜

医療法人あすか

医療法人あすかは1984年高橋小児科としてスタートし、1986年に内科が加わり高橋内科小児科となりました。以後30数年間、緑井の地で医療と介護の事業を続けてまいりました。その後、療育部門として2013年4月に児童デイサービス「ばるみどりい」を開設しました。

我が子が誕生したら、きつと私を見てニッコリ笑ってくれて「なんてかわいいんだらう」と思うだろうな、大きくなったら手をつないで散歩をして、公園で友達と一緒に遊ぶのをほほえましく見守ってあげたいなあ：などと、子育てへの楽しみや期待があったのに、うちの子どこか「ふつう」と違う。育てにくいし、痲癩を起こすし、呼んでも振り向かない。「ど



うしたんだらう？」「なんなんだろう？」と不安がいつぱいで笑顔がなくなってしまうとお母さんお父さん。そして、子どもは人と一緒に関わらない。名前を呼んでも振り返らない。すぐに「ぎゃーぎゃー」と痲癩が起きる等：。そんな、つらい

どうしていいかわからない子どもや保護者の方達を、いつぱいの笑顔にしたい思いでスタートしたのが「ばる」です。2014年4月に、学童期からの放課後等デイサービスとして「ばるびしゃもん」を開設し、2016年5月には、児童発達支援と放課後等デイサービス「ばるひよし」を開設しました。現在、ばるは3つの事業所で療育をしています。

ばるは、高橋内科小児科の発達外来と連携しています。発達に心配があり、「まず相談してみよう」と発達外来を受診された際、発達検査、診断を経て日々の療育が必要な場合は、ばるにつながります。また、療育での姿を知ってもらい、定期的な診察の場につな

げています。医療とタイムリーに連携できるのは、ばるの強みです。

「子ども達のいつぱいの笑顔を！」そのために職員は子どもへの関わり方を知り、どうすればいいのか考える力量が必要です。発達に凸凹のある子ども達が自らわかって主体的に参加できる手立てを考えられる専門性が求められます。

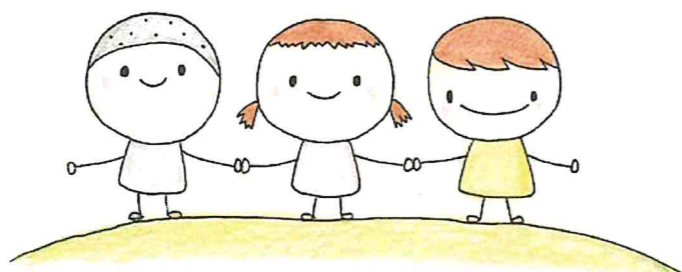
ばるでは、月に1回、職員、発達外来の先生方や外部の専門職の先生方と勉強会をしています。発達検査の結果を読み取り、療育にどう生かしていくかを考えたり、事例検討会で関わり方を共に考えています。勉強会にはほぼ全職員が参加し、自分のスキルアップを目指そうと熱い思いで参加しています。

主人公は子どもで、自ら発達していく芽もっています。私たちは発達を学ぶことで、子ども達一人ひとりを見る質の良い眼鏡を持つことができ、ピントを合わせる事ができます。子どもの可能性としんどうさを丁寧に把握し、その子が楽しめる遊びを丁寧に見つけ

て保障していく。低年齢のうちここうした取り組みを体験すると、大人や仲間に対して開かれた心を持つようになると言われています。子どもは、毎日いっぱい楽しむ遊ぶ場が必要です。家庭ではできない遊びを提供できる場でもありたいと思っています。

医療法人あすかの社は、「ともに生き、ともに輝く」です。出会った人達が元気で笑顔になり、その人らしく輝いていける今と未来を願い、働く職員も自ら輝ける場を目指して日々子ども達と向き合っています。ここで出会えた人々を大切に、感謝し、療育の専門性を身に付け、自分の仕事に誇りを持って働く職員集団を目指して頑張っています。

興味を持ってくださった方は、医療法人あすかのホームページをぜひご覧になってください。



 医療法人あすか
MEDICAL CORPORATION ASUKA

理事長：高橋祐輔

〒731-0103 広島市安佐南区緑井 2丁目12-25

TEL：082-879-3143/FAX：082-879-3190

ホームページアドレス：<http://www.asuka-net.or.jp>

メールアドレス：asuka@smail.plala.or.jp

児童デイサービスばるみどりい TEL:082-830-5388

児童デイサービスばるひよし TEL:082-831-2330

児童デイサービスばるびしゃもん TEL:082-831-3140